

米国 ブルーベリー産業が国の経済に91億ドルの貢献

[FreshPlaza](#) 2025年7月11日

米国ハイブッシュブルーベリー協議会(USHBC)の複数の新しい報告書によると、ブルーベリーの生産者と輸入業者は米国内で大きな経済的インパクトを生み出しており、その寄与は年間約91億ドル、1日当たり約2,500万ドルに相当する。

USHBCのケイシー・クロンクイスト会長は、「複数の新しい報告書は、我々の業界が長い間認識してきたこと、すなわちブルーベリー生産者が米国経済に強力なプラスの影響を与えているということを再確認している。生産者と輸入先国の継続的な取り組みのおかげで、ブルーベリーは一年中出回っており、数万人の雇用を創出・維持し、数十億ドルの経済活動を生み出している」と述べた。

カリフォルニア州立大学サクラメント校のデニス・トゥーテリアン博士が2025年2月に実施したこの研究は、ハイブッシュブルーベリーの生産者と輸入業者の経済的な貢献に焦点を当てている。それによると、この業界は毎年6万1,676人のフルタイムに相当する仕事を支えている。この数字には、加工業者や取扱業者による雇用は含まれていないため、実際の雇用への影響はさらに大きい。これらの事業活動によって生み出される労働所得は、年間33億ドル、すなわち毎日910万ドルで、支払われた賃金と給与は、食料、住宅、交通、保健医療等の必需品への支出として経済全体に波及する。また、所得税のほか、この業界では間接事業税として年間2億7,790万ドルが発生しており、これは1日当たり約76万1千ドルに相当する。

米国内では、ハイブッシュブルーベリーの生産者は4万9,260人のフルタイム相当の雇用を創出し、国家経済に毎年67億ドルの貢献を行っている。また、米国の生産者は、年間24億ドルの労働収入と1億9,310万ドルの間接事業税を生み出している。国内生産を主導しているのは、主に8つの州である：ジョージア州は9億1,730万ドルの経済効果と6,840人の雇用に貢献している。ワシントン州が7億1,060万ドルと9,500人の雇用でこれに続く。カリフォルニア州は5億6,420万ドルと3,850人の雇用を、ミシガン州は5億2,940万ドルと6,100人の雇用を創出している。オレゴン州は4億6,760万ドルと4,330人の雇用を生み出し、フロリダ州は4億1,490万ドルと3,100人の雇用を占めている。ニュージャージー州は2億1,580万ドルと2,425人の雇用に貢献している。これにノースカロライナ州の1億6,450万ドルと1,225人の雇用が加わる。

輸入品も、米国市場を支える上で重要な役割を果たしており、周年供給を保証している。ペルー、メキシコ、チリ、カナダから輸入されるブルーベリーは、米国の経済に年間約24億ドルの影響を与え、フルタイム換算で1万2,415人の雇用、8億7,620万ドルの労働所得及び8,480万ドルの間接事業税を生み出している。これらのブルーベリーは海外で栽培されているものの、その取扱い、物流、流通、小売販売を通じて米国内での事業活動を推進している。輸入先の中では、ペルーが13億ドルの影響と6,521人の雇用でトップであり、次いでメキシコが4億5,500万ドルと2,325人の雇用、チリが3億5,720万ドルと1,825人の雇用、カナダが3億4,890万ドルと1,750人の雇用となっている。

クロンクイスト会長は、「この研究は、国内生産と国際的なパートナーシップの両方が我が国の経済をどのように支えているかを示している。ブルーベリー生産者は、米国の内外を問わず、サプライチェーン全体で継続的に価値を生み出している」と述べた。

レポート全文はこちら(原文参照)。